

春の美術館巡り

山内裕子

平成二十七年四月二十七日

過日、澁谷文化村にて伊太利亞ルネサンス展を見る。金融業者の慾深き人相など西洋近代文明の一面を見る思ひあるも、基督教文明の宗教畫は眞に理解すること難くなむ侍る。

他日、上野に印度の佛展を見に參る。二千年前に作られたる石像、植物裝飾、動物像に印度元來の風土を感じず。釋迦の生涯を四分割して一枚岩に描く手法面白く、古代印度の發想なるべし。又希臘文化融合のガンダーラ佛など見るに、數百年の長き時世（ときよ）經て東亞細亞文化圈より我國に傳はり、木造佛の溫顔となれるの變容、興味盡きず。

昨日、横濱にて琳派四百年の粹に心和む。酒井抱一の鹿楓圖團扇しかかへでふうちはに魅入りたる細見家先代の集めたる「細見コレクション」、四季折々の花の意匠など見事なり。小さき花の姿に心留め日々の庭仕事に勵みたし。

（平成二十七年五月二十五日受附）

鹿楓圖團扇

